

事業実績シート

1 事業の概要

協会事業名	■コミュニティ活性化支援事業 □定住促進事業 □地域特産品需要拡大支援事業 □国際交流支援事業 □長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	かわたな夏まつり開催事業(※かわたな夏まつり実行委員会 主催)			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	川棚町	地域政策課	一瀬 太佳子	0956-76-8335
事業期間	開始年	平成29年8月17日		
事業実施手法	□全部直営 □一部委託 □全部委託 ■その他[実行委員会への補助金]			
実施期間	(開始日)平成29年5月18日		(完了日)平成29年11月10日	
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	(委託内容)			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	町民及び帰省者(町外来場者含む)		「かわたな夏まつり」の開催にあたり、町内各種団体の協力により実施することで地域の活性化を図るとともに、町内外から多くの集客を図り、交流人口の増加につなげることを目的とする。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	かわたな夏まつり実行委員会へ補助金を交付し、下記の内容でを実施した。 ①開催日：平成29年8月17日(木)16時~21時 (雨天により、当初開催予定の8月14日から順延して実施) ②開催内容：花火大会(3,000発) ステージ・フィールドイベント (ステージアトラクション、盆踊り大会、和太鼓演奏等) フリーマーケット・露店 抽選会(抽選番号記載うちわの配布による抽選) 等			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景) かわたな夏まつりは、商工会青年部を中心として始まり、その後、町を挙げての町民総参加のまつりにしようとの気運が高まり、町内各種団体も運営に加わって例年開催されるようになった。			
	(経緯・現状) かわたな夏まつり実行委員会(事務局は商工会)が主催となり、毎年8月14日に開催している。また、町内の各種イベントの企画等を行う(一社)川棚町観光協会イベント委員会(商工会青年部・女性部、JA青年部、婦人会等)を主管としてイベント等の企画運営をしている。			

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算					
事業費（円）				2, 500, 000					
(財源内訳)	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	市町振興共同事業助成金			1, 250, 000					
	一般財源			1, 250, 000					
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度	
	①	来場者数（集客数）	まつり会場への来場者数 （会場内での抽選券等の配布物の数量による推計）	人	目標			10,000	
					実績			10,000	
				目標達成率（％）			100		
	②					目標			
						実績			
					目標達成率（％）				

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価 (公益性) <input checked="" type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス		(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	必需 (+) 私益 (-) 公益 (+) 選択 (-)
	(2) 行政関与の妥当性評価 妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 		(3) 廃止又は休止した場合の影響 (影響内容、程度等) 「かわたな夏まつり」は町内で開催されるイベントの中でも、特に歴史ある祭りであり、川棚町の夏の風物詩として定着している。毎年、8月14日に開催しており、お盆の帰省客の来場も多く、町民だけでなく町内外の多くの方に親しまれているのが現状である。 したがって、事業を廃止又は休止した場合、地域全体の賑わいと町民が一体となって盛り上げようと取り組んでいる活力を著しく損なう恐れがある。	

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		前回開催の反省点を踏まえ、開催時間を来場しやすい時間帯に設定し、また花火大会の内容を充実させたことで、多くの来場者を集客することができた。	
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある	(工夫の内容・工夫の余地がない理由) 今回より、会場設営・準備等の一部を業者委託にすることで、業務の効率化や負担軽減を図ったが、経費削減のため、さらに効率的な運営方法を検討する必要がある。		
	実施予定 期 日	平成 29 年度以降		
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)		
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない		開催時期及び実施内容ともに、類似する事業はない。		
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		企画・運営については、実行委員会において行っており、民間委託は検討していない。	
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保			
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		すでに町民や町内企業・団体等からの協賛金(寄付金)のほか、イベント出店者からの出店料等により歳入確保に努めており、更なる負担を求めることは困難である。		

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	今後も企画内容の改善を検討しつつ、継続して開催する予定。				